

【第 6 回アフリカ開発会議サイドイベント】

サヘル・アフリカの角 砂漠化対処を通じた気候変動に対する レジリエンス強化イニシアティブ

国際協力機構（JICA）は、8月27日、ナイロビ市内の Sarova Panafric ホテルにて、ケニア環境自然資源省、セネガル国家食糧安全保障評議会、砂漠化対処条約（UNCCD）事務局との共催により「サヘル・アフリカの角 砂漠化対処を通じた気候変動に対するレジリエンス（強靱性）強化」をテーマにサイドイベントを開催しました。

本イベントでは「サヘル・アフリカの角 砂漠化対処を通じた気候変動に対するレジリエンス強化イニシアティブ」を正式に立ち上げ、この地域の砂漠化対処を通じた気候変動に対するレジリエンス強化の取り組みを行う上で対応すべき課題や具体的な行動について議論されました。

開発途上国の中でも、特にアフリカのサヘル地域、ソマリア、エリトリア、スーダンなどの「アフリカの角」諸国では、貧しい人々の多くが自然資源に頼って生活しており、貧しさゆえに過度に資源を使用してしまうことによって資源が枯渇し、更に貧困が進むという負の連鎖に陥っています。このような厳しい状況であるにも関わらず、同地域に対しては大規模な干ばつ被害時以外には国際社会の関心やこれらの地域への支援も十分行われてこなかった経緯があります。これらの背景から、同地域における「砂漠化対処を通じた気候変動に対するレジリエンス強化イニシアティブ」が発足しました。

本イベントでは、冒頭、加藤宏 JICA 理事が登壇し、同イニシアティブにおいてサヘル及びアフリカの角地域内のネットワーク化を進め、当該分野の知識共有を行っていくことにより、限られた資金の中でより効果的に砂漠化対処を促進することにより、気候変動に対するレジリエンス強化への貢献を目指すとの考えを示しました。また、ジュディ・ワフング・ケニア環境・自然資源省大臣が基調講演を行い、ケニアは、持続可能な開発のための目標（SDGs: Sustainable Development Goals）15.3においてその重要性が示されている土地の劣化の中立性に関する国家目標の設定に尽力するとともに、砂漠化、土地劣化、気候変動といった課題に効果的に対応するため持続可能な土地管理を進めていることを強調しました。

パネルディスカッションでは、サヘル、及び、「アフリカの角」諸国政府関係者、当該分野で支援を行っている国際機関代表者、日本の砂漠化研究者がパネリストとして登壇し、砂漠化対処を通じた気候変動に対するレジリエンス強化に向けた各国・機関の活動

の紹介や、当該地域における開発を効果的に進める上での方策について議論されました。その結果、本イニシアティブ参加国・機関の間でネットワークを構築し、当該地域の砂漠化対処にかかるグッドプラクティスの共有を促進するとともに、サヘル地域や「アフリカの角」各国が利用可能な開発資金へアクセスを向上させることが実効性の高い方法であるとの共通認識が得られました。

最後にモハメッド・アリ・アリアス・セガ・カマラ・セネガル国家食糧評議会委員長が本イニシアティブに対する期待と関係国・機関への一層の協力を呼びかけて本イベントを締め括りました。

JICA は今後も本イニシアティブのパートナー国・機関と協調し、SDGs にも掲げられる当該地域の気候変動へのレジリエンス（強靱性）の強化や、貧困削減、長期的にはテロや様々な脅威への戦いに貢献していきます。

■本イベントの登壇者

【開会挨拶】

加藤宏 国際協力機構 理事

【基調講演】

ジュディ・ワフング ケニア環境・自然資源大臣

【スピーチ】

ジメ・アドウム サヘル干ばつ対策国家間常設委員会（CILSS）委員長

石井菜穂子 地球環境ファシリティ（GEF）事務局長

【パネリスト】

- ・ウエドラゴ・スレイマン ブルキナファソ農業省 技術顧問
- ・オスマン・ジェドゥ・アミール ソマリア牧畜・森林省 シニアアドバイザー
- ・恒川篤史 鳥取大学乾燥地研究センター 教授
- ・リチャード・パイロンコックス 砂漠化対処条約事務局 行動計画・能力開発担当官
- ・ブカール・ティジャニ 国連食糧農業機関（FAO）次長/アフリカ地域代表

【モデレーター】

ヘンリー・ボンス 国際ジャーナリスト

【イニシアティブ成果文書採択】

リチャード・ムウエンダンドウ 環境・自然資源省 多国間環境合意局長

【閉会挨拶】

モハメッド・アリ・アリアス・セガ・カマラ セネガル国家食糧評議会事務局長



基調講演を行うジュディ・ワフング ケニア環境・自然資源大臣



「強靱なアフリカのための砂漠化対処」をテーマに活発なパネル議論が行われた